

フクト実力診断テスト

解答・解説集



ご注意

解答記入用紙には採点結果(○や×)を記入しないでください。
採点できないことがあります。



もくじ

◇模範解答と解説

国語	2～4ページ
数学	5～8ページ
英語	9～12ページ

問題番号		模範解答	配点	
一	(1)	問一 現代の／日本人は／ その／ありがたさに／ 気づいて／いない(／) ◎	1	
		問二 3 ◎	1	
		問三	A 梅雨	2
			B 猛烈	2
		問四	(1) C 日差し	2
	D 照葉樹林		2	
	(2) 〔例〕人が得られるもの が多くなる ☆		2	
	(3) 関東の	1		
	(2)	問一 しゅつぽつ ◎	1	
		問二 3	2	
問三 4		2		
問四 再生		2		
問五 1		2		
二	問一	A フォーム ◎	1	
		B 走っていて	1	
	(1)	C 焦がれる	2	
		P 〔例〕速く走って大会で 勝てる ★	2	
		(2) 走っている	2	
	(3) コーチも	2		
問三 3 ☆	2			

問題番号		模範解答	配点
三	問一 いいける ◎	1	
	問二	(1) 土に	1
		(2) 4 ☆	2
		(3) Q 〔例〕はや } 〔順不同〕 R 〔例〕おそ } 〔両解〕	2
	問三	(1) 3	2
		(2) 〔例〕人がつかなくても 二時間おきに鳴る ★	2
		(3) 水	2
		(4) 〔例〕人を信用する／ 他人を信じる ☆	2
	四	問一 4	2
		問二	(1) A 1 } 〔両解〕 ◎ B 3 }
(2) 〔例〕拝見して			2
問三 〔例〕なりました(。)		2	
問四 〔例〕体調を崩されない ようお願いしております ★		2	
問五	a 1 } b 御中 } 〔全解〕	2	
	ア 〔例〕様		
	60点満点		

〔マークの説明〕

- ◎ …… 基本事項の理解力を確かめる問題です。
- ☆ …… 総合的な読解力を確かめる問題です。
- ★ …… 「活用」型の問題で、県入試のねらいに沿った内容です。

※著作権の都合上、㊦〔1〕 説明的文章 ㊦ 文学的文章 の解説は省略しています。

㊦

〔2〕 語句などに関する問題

問二 「集」は12画です。選択肢1「修」は10画，選択肢2「終」は11画，選択肢3「衆」は12画，選択肢4「習」は11画です。

問三 「山菜」の音読み・訓読みの組み合わせは（音・音）です。選択肢1「川岸」は（訓・訓），選択肢2「場所」は（訓・音），選択肢3「仕事」は（音・訓），選択肢4「寒冷」は（音・音）です。

問五 「耳（みみへん）」は，楷書では左の縦棒の次に横棒を書きますが，行書では左の縦棒の次に右側の縦棒を書きます。⇒ 筆順の変化（選択肢1）

㊦ 古典

『今昔物語集』

《現代語訳》 今となつては昔のことだが，小野篁という人が愛宕寺を建立し，その寺で使うものとして鑄物師に鐘をつくらせたところ，鑄物師は，「この鐘をつく人がいなくても二時間おきに鳴るようにします。それには，このように鑄た後，土を掘って埋め（＝「間二(1)土に掘り埋みて」），三年おいておかなければなりません。今日から始めて間二(2)三年経った日のその翌日（→選択肢4）に，（鐘を）掘り出さなければなりません。それを，日数が足りなかったり，日を遅らせて掘り出したりしたならば，そのようにつく人なしに二時間おきに鳴ることはないでしょう。そういう仕掛けをしているのです」と言つて，鑄物師は帰つていった。

そこで，土を掘って埋めたが，その後，（愛宕寺の）別当である法師が，二年を過ぎて三年目という頃に，まだその日には（日数が）足りないのに，待ちきれず，（本当に鑄物師の言つたように鳴るかどうかも）心配だったので，浅はかにも（鐘を）掘り出してしまった。そのため，つく人もなしに二時間おきに鳴ることはなく，ただふつうの鐘として存在しているのであった。〈中略〉だからこそ，落ち着きがなく忍耐力のない人は，必ずこのように失敗するものだ。愚かで人を信用しないことの結果である。

世間の人はこれを聞いて，人を信用しないというようなことは心してやめるべきだ，と語り伝えたということだ。

問一 歴史的仮名遣い「いひける」

→現代仮名遣い 「いける」

問二 (3) 本文「あるいは日を足らしめず，あるいは日を余して掘り開けたらむ，しか拙く人もなくて十二時に鳴ることは，あるべからず。」

…鐘を掘り出すのは，期日よりもQ〔例〕はやくてもR〔例〕おそくてもいけなかったのです。（QとRは順不同）

問三 (1) 「騒がしく、物念じせざらむ人」とは，鑄

物師との約束を守らずに、期日より早く鐘を掘り出した「別当にてありける法師」のことです。

- (2) 本文「鑄師が云はく、『この鐘をば、搥く人もなくて十二時に鳴らさむとするなり。』・「(期日より早く掘り起こしたので、) 搥く人もなくて十二時に鳴る事はなくて、ただある鐘にてあるなりけり。」…法師は期日より早く鐘を掘り出してしまったため、〔例〕二時間おきにひとりでに鳴る鐘はできなかったのです。
- (3) 「水の泡になる」は、「努力・苦心などが無駄になる」ことを表します。
- (4) 本文「世の人これ (=法師が鐘を早く掘り出した結果、ただの鐘として終わった話) を聞きてゆめゆめ不信ならむ事をば止むべし~語り伝へたとや。」…世間の人々は、法師の行動とその結果を聞いて、〔例〕人を信用する／他人を信じることの大切さを学びました。

は、山原さん個人に送るお礼状ですので、《封筒の表書き・裏書き》のa表書き(→選択肢1)のb御中と書いている部分をア〔例〕様に修正します。

四 文章の推敲・批評

問一 改まった手紙では、最初に時候の挨拶を書く習慣があり、その季節に応じた文章を書きます。今回の手紙は五月に送っているので、「木々の緑が目にまぶしい今日このごろ」を選びます。

→選択肢4 (選択肢1: 4月, 選択肢2: 3月, 選択肢3: 6月)

問二 「ご覧になって」は、相手の動作を敬う(1)A尊敬語です。「団体の方々が懸命に取り組むお姿」を見たのは、生徒(私たち)なので、自分がへりくだることで相手に敬意を表す(1)B謙譲語を使うのが適当です。「ご覧になって」を謙譲語に修正すると、(2)〔例〕拝見して／見せていただいて、となります。

問三 文末は常体または敬体に統一して書きます。

問四 文末(結びの言葉)には、相手の健康を気遣う文などを書きます。ここでは、「最後にはなりますが、季節の変わり目に〔例〕風邪など引かれませんようお気を付けください。」などと書きます。

問五 手紙の宛名の敬称は、個人宛ての場合は様・先生・殿など、多人数宛ての場合は各位・皆様など、団体宛ての場合は御中と書きます。今回

問題番号	模範解答	配点
1	(1) -62 ◎	2
	(2) $x-7$ ◎	2
	(3) 84	2
	(4) $x=-3$ ◎	2
	(5) $x=-2, y=8$ [両解]	2
	(6) $288\pi\text{cm}^3$ ◎	2
	(7) 62°	2
	(8) $\frac{5}{12}$	2
	(9) 記号: イ 式: $y = \frac{2000}{x}$ [両解]	2
2	(1) 15, 17, 19 [順不同全解] ◎	2
	(2) 下記参照 ★	5
3	(1) 30分以上 40分未満	2
	(2) ★ (説明) 通学時間の最頻値は、 A中学校が25分、 B中学校が35分である。 $25 < 35$ なので、 通学時間の最頻値が大きい のは、B中学校である。	4

※同じ値を表す分数は正解とします。

問題番号	模範解答	配点	
4	(1) 6 cm ◎	2	
	(2) 48 cm	2	
	★	ア (9, 60)	1
		イ $y = -4x + 96$	1
		ウ 2	1
		エ $y = 2x + 10$	1
		オ $x = \frac{43}{3}, y = \frac{116}{3}$ [両解]	1
カ 14分20秒後	1		
5	★	ア 中点	1
		イ $\angle BEF = \angle CED$	1
		ウ $\angle FBE = \angle DCE$	1
		エ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい	2
	(2) 38°	2	
(3) 2倍 ☆	3		
6	(1) ア, エ [順不同全解] ◎	3	
	(2) 240cm^2	3	
	(3) 120cm^3 ☆	3	
60点満点			

②(2)

(証明) 真ん中の奇数は $2n+3$, 最も大きい奇数は $2n+5$ と表される。

最も大きい奇数を2倍した数と真ん中の奇数の和から、最も小さい奇数をひいた差は、

$$\begin{aligned} \{2(2n+5) + (2n+3)\} - (2n+1) &= (4n+10+2n+3) - 2n-1 \\ &= 6n+13-2n-1 \\ &= 4n+12 \\ &= 4(n+3) \end{aligned}$$

[マークの説明]

◎ …… 基本事項の理解を確かめる問題です。

☆ …… 総合的な思考力を確かめるための、やや難しい問題です。

★ …… 県入試の傾向を踏まえた、論述力を強化する問題です。

1 各領域の小問題

- (1) $10 + 9 \times (-8) = 10 - 72$
 $= -62$
- (2) $4(x-2) - (3x-1) = 4x - 8 - 3x + 1$
 $= 4x - 3x - 8 + 1$
 $= x - 7$
- (3) $12x^2 \times (-3xy^2) \div 6xy = 12x^2 \times (-3xy^2) \times \frac{1}{6xy}$
 $= -6x^2y$
 $-6x^2y$ に $x=7, y=-\frac{2}{7}$ を代入して,
 $-6 \times 7^2 \times \left(-\frac{2}{7}\right) = -6 \times 7 \times 7 \times \left(-\frac{2}{7}\right) = 84$
- (4) $5(x-1) = 9x+7$
 $5x-5 = 9x+7$
 $5x-9x = 7+5$
 $-4x = 12$
 $x = -3$

かっこをはずす
 移項する

- (5) 方程式 $3x - y = x + y - 20 = -14$ は、次の連立方程式になおして解くことができます。

$$\begin{cases} 3x - y = -14 \\ x + y - 20 = -14 \end{cases}$$

上の連立方程式を整理すると、

$$\begin{cases} 3x - y = -14 \cdots \text{①} \\ x + y = 6 \cdots \text{②} \end{cases}$$

- ①+②より、 $4x = -8 \Rightarrow x = -2$
 $x = -2$ を②に代入して、 $-2 + y = 6 \Rightarrow y = 8$

確認しよう!

☆ $A = B = C$ の形の方程式 ☆

$$\begin{cases} A = C \\ B = C \end{cases} \quad \begin{cases} A = B \\ A = C \end{cases} \quad \begin{cases} A = B \\ B = C \end{cases}$$

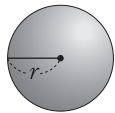
のいずれかの形の連立方程式になおして解く。

- (6) (半径 6 cm の球の体積) $= \frac{4}{3} \pi \times 6^3$
 $= 288 \pi \text{ (cm}^3\text{)}$

確認しよう!

☆ 球の表面積・体積 ☆

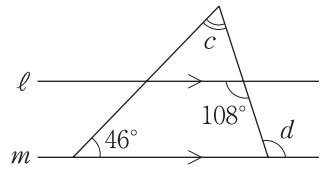
半径 r の球の表面積を S 、体積を V とすると



$$S = 4\pi r^2$$

$$V = \frac{4}{3} \pi r^3$$

- (7) 平行線の錯角は等しいので、
 $\ell // m$ より、
 $\angle d = 108^\circ$



三角形の内角と外角の性質より、 $46^\circ + \angle c = \angle d$
 $46^\circ + \angle c = 108^\circ \Rightarrow \angle c = 62^\circ$

- (8) 2つのさいころ A, B の目の出かたは、全部で 36 通りです。出る目の数の和は、右の表のようになります。出る目の数の和が 8 以上になるのは 15 通りです。

〈出る目の数の和〉

B \ A	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12

よって、求める確率は $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

- (9) (道のり) = (速さ) × (時間) で考えます。

ア： $x = y \times 60 \Rightarrow y = \frac{1}{60}x$ (比例)
 イ： $2000 = x \times y \Rightarrow y = \frac{2000}{x}$ (反比例)
 ウ： $y = 120 \times x \Rightarrow y = 120x$ (比例)

2 文字式の利用

- (1) 最も小さい奇数が 15 のとき、
 真ん中の奇数は $15 + 2 = 17$
 最も大きい奇数は $17 + 2 = 19$
 よって、連続する 3 つの奇数は 15, 17, 19 です。
- (2) 最も小さい奇数 $2n+1$ 、真ん中の奇数 $2n+3$ 、最も大きい奇数 $2n+5$
- $$\left\{ 2 \times \left(\begin{matrix} \text{最も大きい} \\ \text{奇数} \end{matrix} \right) + \left(\begin{matrix} \text{真ん中の} \\ \text{奇数} \end{matrix} \right) \right\} - \left(\begin{matrix} \text{最も小さい} \\ \text{奇数} \end{matrix} \right)$$
- $$= \{ 2(2n+5) + (2n+3) \} - (2n+1)$$
- $$= (4n+10+2n+3) - 2n-1$$
- $$= 6n+13-2n-1$$
- $$= 4n+12$$
- $$= 4(n+3)$$
- n は整数なので、 $n+3$ も整数となります。
 よって、 $4 \times (\text{整数})$ と表せます。
 したがって、4 の倍数になります。

数学

③ データの活用

(1) 中央値 ⇨ データの値を大きさの順に並べたときの中央の値

A中学校は90人より、中央値は45番目と46番目の値の平均になります。よって、中央値がふくまれる階級は、45番目と46番目の値がふくまれる**30分以上40分未満**の階級です。

(2) 最頻値 ⇨ 度数が最も多い階級の階級値

A中学校の度数が最も多い階級は20分以上30分未満の階級より、階級値は $\frac{20+30}{2} = 25$ (分)

B中学校の度数が最も多い階級は30分以上40分未満の階級より、階級値は $\frac{30+40}{2} = 35$ (分)

最頻値を不等号を用いて比較し、結論を述べましょう。

④ 関数の利用

(1) グラフの0分のときの底から水面までの高さを読みとると、6 cm です。

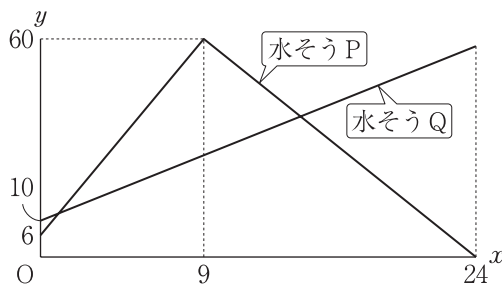
よって、はじめ、水そうPには**6 cm**の高さまで水が入っていました。

(2) グラフより、給水管Aを使って9分間水を入れると底から水面までの高さは60 cm になります。

$\frac{60-6}{9} = 6$ より、給水管Aから水を入れると水面の高さは毎分6 cm ずつ高くなります。

よって、水そうPに水を入れはじめしてから7分後の、底から水面までの高さは $6 + 6 \times 7 = 48$ (cm)

(3) 水そうPについてのグラフに水そうQについてのグラフをかき加えると次のようになります。



<水そうPのグラフについて>

$9 \leq x \leq 24$ のとき、2点(9, 60), (24, 0)を通る直線なので、求める式を $y = ax + b$ として、2点の座標の値をそれぞれ代入すると、

$$\begin{cases} 60 = 9a + b \\ 0 = 24a + b \end{cases} \Rightarrow \begin{cases} a = -4 \\ b = 96 \end{cases}$$

水そうPの式は、 $y = -4x + 96$ … ①

<水そうQのグラフについて>

水そうQは、給水管Cを使って水を入れると水面の高さは毎分2 cm ずつ高くなるので、グラフの傾きは2です。はじめ、底から10 cmの高さまで水が入っていたので、グラフの切片は10です。よって、水そうQのグラフをかくと、傾きが2で、切片が10の直線になります。

水そうQの式は、 $y = 2x + 10$ … ②

<水面の高さが等しくするとき>

①, ②を連立方程式として解くと、

$$x = \frac{43}{3}, y = \frac{116}{3}$$

$9 \leq x \leq 24$ なので、これは問題にあいます。

$\frac{43}{3}$ 分後は $14\frac{1}{3}$ 分後と表すことができ、 $\frac{1}{3}$ 分を秒で表すと $60 \times \frac{1}{3} = 20$ より、20秒です。

よって、水そうPと水そうQの底から水面までの高さが等しくなったのは、水そうPに水を入れはじめから**14分20秒後**です。

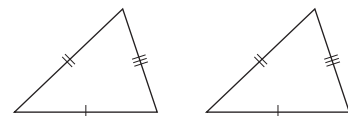
⑤ 平面図形

(1)

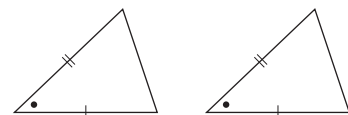
確認しよう!

☆ 三角形の合同条件 ☆

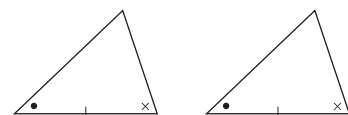
① 3組の辺がそれぞれ等しい



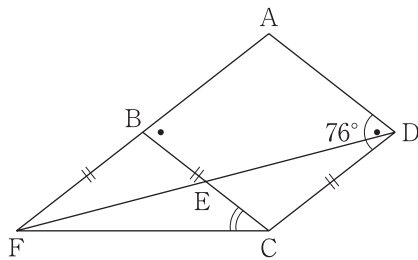
② 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい



③ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい



(2)

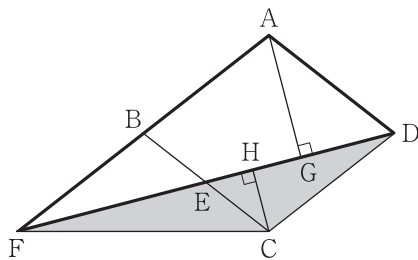


$\triangle BFE \equiv \triangle CDE$ より、合同な図形の対応する線分の長さは等しいので、 $BF = CD \dots \textcircled{1}$
 ひし形の4つの辺は等しいので、 $BC = CD \dots \textcircled{2}$
 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より、 $BF = BC$
 よって、 $\triangle BFC$ は $BF = BC$ の二等辺三角形です。
 ひし形の向かいあう角は等しいので、
 $\angle ABC = \angle ADC = 76^\circ$
 $\angle FBC = 180^\circ - \angle ABC = 104^\circ$
 二等辺三角形の2つの底角の大きさは等しいので、
 $\angle BCF = \angle BFC$

$$= \frac{180^\circ - \angle FBC}{2} = 38^\circ$$

したがって、 $\angle ECF = \angle BCF = 38^\circ$

(3)

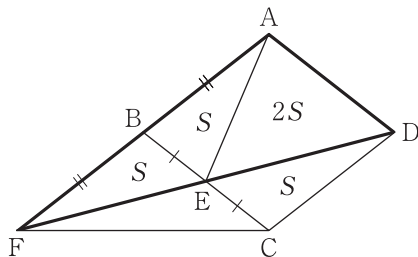


- ・ $\triangle AFD$ を、底辺 DF 、高さ AG の三角形
- ・ $\triangle CDF$ を、底辺 DF 、高さ CH の三角形

上のように考え、底辺が同じ DF であることから、 $\triangle AFD$ の面積と $\triangle CDF$ の面積を利用して、 AG の長さが CH の長さの何倍であるかを求めます。

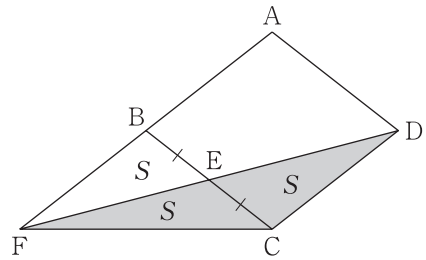
< $\triangle AFD$ の面積について>

$\triangle BFE \equiv \triangle CDE \Rightarrow \triangle BFE = \triangle CDE = S$ とする



$$\begin{aligned} \triangle AFD &= \triangle BFE + \triangle ABE + \triangle AED \\ &= S + S + 2S = 4S \end{aligned}$$

< $\triangle CDF$ の面積について>



$$\begin{aligned} \triangle CDF &= \triangle CDE + \triangle CEF \\ &= S + S = 2S \end{aligned}$$

< AG の長さ と CH の長さの比較>

$\triangle AFD$ と $\triangle CDF$ は、底辺が同じ DF であることから、 $\triangle AFD$ の面積と $\triangle CDF$ の面積の比は、高さの比と等しくなると考えることができます。
 $\triangle AFD : \triangle CDF = 4S : 2S = 2 : 1$
 よって、 $AG : CH = 2 : 1 \Rightarrow AG = 2CH$
 したがって、 AG の長さは CH の長さの **2倍** です。

6 空間図形

- (1) ア：面 ABC と CF は垂直に交わっています。
 イ：面 $ABED$ と面 $ACFD$ は交わっています。
 ウ： AC と DF は平行です。
 エ： AD と EF はねじれの位置にあります。

(2) (表面積) = (側面積) + (底面積) $\times 2$

$$\begin{aligned} &= AD \times (AB + BC + CA) + \triangle ABC \times 2 \\ &= 6 \times (13 + 12 + 5) + \frac{1}{2} \times 12 \times 5 \times 2 \\ &= 180 + 30 \times 2 = \mathbf{240 \text{ (cm}^2\text{)}} \end{aligned}$$

(3) D をふくむ立

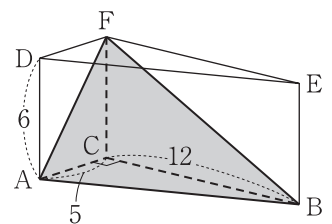
体の体積は、三角柱 $ABCDEF$

の体積から、**三角錐 $FABC$ の**

体積をひいて求めます。

(求める立体の体積)

$$\begin{aligned} &= \left(\text{三角柱 } ABCDEF \text{ の体積} \right) - \left(\text{三角錐 } FABC \text{ の体積} \right) \\ &= \triangle ABC \times AD - \frac{1}{3} \times \triangle ABC \times CF \\ &= \frac{1}{2} \times 12 \times 5 \times 6 - \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 12 \times 5 \times 6 \\ &= 180 - 60 \\ &= \mathbf{120 \text{ (cm}^3\text{)}} \end{aligned}$$



問題番号		模範解答		配点			
1	問題1	(1)	ウ ◎	1	15		
		(2)	エ	1			
		(3)	ウ	1			
		(4)	drinking	1			
	問題2	(1)	エ	1			
		(2)	イ	1			
		(3)	ウ	1			
	問題3	(1)	3週間	1			
		(2)	Yes, were [両解]	1			
		(3)	Japanese, culture [両解] ☆	2			
		(4)	Next, spring [両解]	2			
	問題4		[例] Yes, I do. / No, I don't.	★		2	
	2	問1	(1)	イ		1	8
(2)			ウ	1			
(3)			ア	1			
問2		(1)	them	1			
		(2)	Excuse	1			
		(3)	subject	1			
問3		(1)	Thursday	1			
		(2)	languages	1			
3		問1	(1)	ウ ◎	1	13	
			(2)	イ ◎	1		
	(3)		ア ◎	1			
	問2	(1)	How, much [両解]	1			
		(2)	left	2			
		(3)	Who's, singer [両解] ☆	2			
	問3	(1)	Does	1			
		(2)	are, good [両解]	2			
		(3)	won't, be [両解] ☆	2			

問題番号		模範解答		配点	
4	問1	(1)	エ, ウ [両解]	1	12
		(2)	イ, ウ [両解]	1	
		(3)	イ, ア [両解]	1	
	問2	(1)	Whose ◎	1	
		(2)	walks	2	
		(3)	Were, ago [両解] ☆	2	
	問3	①	[例] What did you talk	2	
		②	[例] was nervous ☆	2	
	5	問1	ウ	1	
問2		[例] 明るい光が植物を長時間照らしたら、植物はよく育つことができない(こと)	1		
問3		sounds	2		
問4		Why don't we go to	2		
問5		エ	2		
問6		(1)	No, don't [両解]	2	
		(2)	went, last, Saturday [全解] ☆	2	
60点満点					

※日本語記述については、同様の表現であれば正解とします。

代替問題の答え

問題1 (1)2 (2)3 (3)1 (4)best

問題2 (1)3 (2)2 (3)1

問題3 (1) questions
(2) has, to [両解]
(3) finished, reading [両解]
(4) earlier, than [両解]

問題4 Were you watching TV

〔マークの説明〕

- ◎ …… 基本事項の理解を確かめる問題です。
- ☆ …… 総合的な思考力を確かめるための、やや難しい問題です。
- ★ …… 県入試の傾向を踏まえた、記述力を強化する問題です。

① リスニングテスト

〔読まれた英文〕

- 問題1** (1) How many soccer balls are there in this picture?
 (2) Where are Taro's shoes?
 (3) What time is the game going to start?
 (4) The boy by the window is Hiroshi. What is he doing?

問題2

Y = Yuto M = Mary

- (1) Y : Today's homework is difficult for me.
 Can you help me after school, Mary?

M : (チャイム) I have to practice tennis.

Y : Oh, I see.

ア Yes, of course.

イ No, you can't.

ウ That's a good idea.

エ I'm sorry, I can't.

- (2) M : Good morning, Yuto. How was your weekend?

Y : It was a lot of fun. I went to Nagasaki with my family.

M : That's good. (チャイム)

Y : We visited many beautiful places.

ア When did you go to Nagasaki?

イ What did you do there?

ウ What place in Nagasaki do you like?

エ Why do you want to visit Nagasaki?

- (3) M : Yuto, who is that girl?

Y : (チャイム)

M : The girl under the tree. I don't know her.

Y : Oh, she is my sister Aiko.

ア Do you know the girl's name?

イ Is the girl your sister?

ウ Which girl are you talking about?

エ How about talking with the girl?

- 問題3** Hello, everyone. My name is Sayaka. Last year I went to Australia to study English. I stayed there for three weeks and had a great time.

I went to school from Monday to Friday. I made some friends and enjoyed talking with them. One of them, Cathy, became my good friend. She was interested in Japanese culture, so I taught her a famous Japanese song, "Ue o Muite Aruko." Singing the song was difficult for her, but she practiced hard. When she could sing it well, she looked very happy.

Next spring Cathy and her family are going to visit Japan. I want to see her again and talk with her a lot. Thank you for listening.

- 問題4** Do you like looking at the stars?

② 表現・語句

- 問1** (1) 「(曜日を表して) ~に」というときは、on を使います。月や季節：in ~ / 時刻：at ~
 (2) ア soon 「すぐに」 イ hard 「一生懸命に」
 ウ again 「もう一度」
 (3) ア bring 「持ってくる」 イ forget 「忘れる」
 ウ choose 「選ぶ」

- 問2** (1) A : あなたには姉妹がいますか。
 B : はい, 2人の姉妹がいます。私は彼女たちが大好きです。
 → 動詞 like の後にくるので, them
 (2) A : すみません。私たちの写真を撮ってくださいませんか。
 B : もちろん。
 → Excuse me. は知らない人に話しかけるときに使います。
 (3) A : あなたは何の教科が好きですか。
 B : 数学 (が好きです)。

- 問3** (1) 「木曜日は水曜日の後にきます。」
 (2) 「ジョンは2か国語 (2つの言語) — 英語と中国語を話すことができます。」

③ 文法事項の復習

- 問1** (1) 「私たちはこの前の金曜日にすしを食べました。」 → last Friday より, 過去の文なので, 「食べる」eat の過去形 ate を選びます。

- (2) 「この本は私にとって難しくありません。」
→ 「難しくない」は 〈 be動詞 + not + difficult 〉で表すので、isn't を選びます。
- (3) 「あなたは明日、大樹に会うつもりですか。」
→ tomorrow より、**未来**の疑問文なので、Will を選びます。

確認しよう!

☆ 未来を表す表現① ☆

- ・「～でしょう」、「～するつもりです」、「～しようと思います」と未来のことを言うときは、〈 **will + 動詞の原形** 〉の形を使う。

〔例〕 I will be busy next week.

「私は来週忙しいでしょう。」

- ・疑問文：主語の前に will を置く。
- ・否定文：will の後に not を置く。

- 問2** (1) 「いくら」と値段をたずねるときは、How much を使います。
- (2) 「出発する」leave の過去形は left
- (3) 「～はだれですか。」は Who is ~? で表しますが、() の数より、短縮形の Who's にします。「歌手」singer
よく使われる疑問詞を復習しましょう。

確認しよう!

When 「いつ」

Where 「どこに [で]」

Who 「だれ」

Why 「なぜ」

Whose 「だれの (もの)」

Which 「どちら (の)」

What 「何 (を)」

* What time 「何時に」

How 「どのように、どうやって」

* How many 「いくつの」

* How much 「(値段が) いくら」

* How long 「どのくらい長く」

- 問3** (1) 「真衣は毎日、英語を勉強しますか。」という意味の文に。主語が3人称単数で**現在**の文を疑問文にするので、主語の前に Does を置きます。

- (2) 「トムとビルははしをじょうずに使うことができます。」を「トムとビルははしを使うことがじょうずです。」という意味の文に。「～することがじょうずだ」は be good at ~ing で表しますが、主語 Tom and Bill が複数で**現在**の文なので、be動詞は are にします。
- (3) 「今日、福岡は晴れていません。」を「明日、福岡は晴れてはいけません。」という意味の文に。**未来**の否定文なので、〈 **will not + 動詞の原形** 〉を使いますが、() の数より、短縮形の won't に。isn't (= is not) の is は原形の be にします。

4 英作文

問1 (1) (How do you go) to school?

→ 「(交通手段について) どうやって～」とたずねるときは、How を文頭に置き、do you ~ を後に続けます。

(2) I (got up at six) today.

→ 「起きる」は get up で、「6時に」は at six で表します。

(3) Mr. Smith (is going to wash his) car next Sunday.

→ 「～する予定である」と**未来**のことについていうときは、〈 **be going to + 動詞の原形** 〉を使います。「洗う」wash

確認しよう!

☆ 未来を表す表現② ☆

- ・「～するつもりです」とあらかじめ決めておいた予定や未来のことを言うときは、〈 **be going to + 動詞の原形** 〉の形を使う。

〔例〕 I'm going to play tennis tomorrow.

「私は明日テニスをするつもりです。」

- ・疑問文：主語の前にbe動詞を置く。
- ・否定文：be動詞の後に not を置く。

- 問2** (1) 「だれの」と持ち主をたずねるときは、Whose を使います。
- (2) 主語 Kate が3人称単数で**現在**の文なので、「歩く」walk は walks にします。

(3) 「～でした」は be 動詞の過去形で表します。
主語が複数の疑問文なので、were を使って、
Were you and Lisa ～? とします。

「2年前」two years ago

be 動詞の過去形を復習しましょう。

確認しよう!

☆ be 動詞の過去形 ☆

・ am, is の過去形 → was

・ are の過去形 → were

問3 (1) 「何」とたずねるときは、What を文頭に置きます。一般動詞・過去の疑問文なので、did you ～ を後に続けます。

「話す」talk

(2) 「緊張する」は〈be 動詞 + nervous〉で表します。主語が I で過去の文なので、be 動詞は was を使います。

5 対話文の読解

【日本語訳】 T = 拓海 A = アンナ

T: こんにちは、アンナ。この写真を見てください。

A: わあ、とても美しい夜景ですね。どこでその写真を撮りましたか。

T: 北九州市の皿倉山の頂上から（撮りました）。家族とぼくはこの前の土曜日にそこへ行きました。

A: それはすてきですね。街にはたくさんの人工の光があるので、私たちはそのような美しい夜景を楽しむことができます。人工の光は他の用途でも役立っています。例えば、通りにたくさんの光があったら、犯罪がより少ないのです。

T: なるほど。

A: しかし、人工の光にはいくつかの問題があります。何か思いつきますか。

T: ええと、ぼくたちの周りが人工の光でいつも明るいと、睡眠に問題が生じるかもしれません。よく眠るためには、夜の暗やみが必要です。

A: そのとおりです。夜の明るい光は植物にも影響を与えます。明るい光が植物を長時間照らしたら、植物はよく育つことができません。

T: それを知らませんでした。人工の光は必要だけれど、夜の暗やみも光と同じくらいぼくたちにとって大切なのですね。

A: あなたの言うとおりで。

T: 毎年、ぼくたちの市で「キャンドルナイト」というイベントがあります。そのイベントの間、人々は夜に明るい光を使いません。

A: ほんとうですか。そのイベントを知らなかった。暗やみを楽しむことができるので、それはよさそうですね。

T: はい。今年、そのイベントにいっしょに行きませんか。

A: もちろん。

問1 □ の後で、From the top of Mt. Sarakura in Kitakyushu City. と、写真を撮った場所を答えているので、ウを選びます。

問2 すぐ前のアンナの発言 If bright lights shine on them for a long time, they can't grow well. に着目します。If ～ は、「もし～ならば」という意味を表します。

問3 「～に聞こえる、～に思われる」は sound ～ で表します。主語が It なので、sounds にすることに注意します。

問4 (Why don't we go to) the event this year? → Why don't we ～? は「(いっしょに) ～しませんか。」と相手を誘うときに使う表現です。

問5 ア 対話文1～4行目より、拓海が皿倉山の頂上で美しい夜景を見ました。

イ 対話文6～7行目より、アンナが言っています。

ウ 対話文17行目以降より、アンナはキャンドルナイトというイベントを今まで知らず、今年、拓海とはじめていっしょに行くつもりです。

エ 対話文14～16行目より、○

問6 (1) 「キャンドルナイトのイベントの間、人々は夜に明るい光を使いますか。」

→ 対話文17～18行目より、No

(2) 「拓海と家族はいつ北九州市に行きましたか。」
→ 対話文3～4行目より、この前の土曜日に彼らはそこへ行きました。go の過去形 went を使って表します。